

6. チック症とは

【問い】 6歳の男の子ですが、入学してから、目をパチパチさせたり、肩を上げたりするのが目立つので、医者に診てもらったら「チック症」といわれました。心因性とかで、親の養育態度にも問題があるといわれましたが、具体的にどうすればよいのか教えてください。

【答え】 急に目をパチパチさせたり、頭をふったり、鼻をならしたり、奇声を発したり、首や肩、手足をピクッと動かすなど上半身に起こることの多い、自分の意思ではどうにもならない筋肉運動をチックというのですが、カナーという学者はこれを「突然起こり、不随意的に頻繁に繰り返される速い運動」と定義しています。お子さんの年ごろに現れることが多く、チックになる前から①「一時もじっとしてられない、活動的すぎる、どちらかというと衝動的な行動が目立つ子ども」であり、それに②「引きがねとなる身体的または、情緒的体験」が加わり、さらに③「チックに親が反応してチックをやめられなくさせている」場合が多いようです。従って、担任の先生と話し合っ②のようなことが、学校でなかったかをお聞きするとともに、チック症に特徴的な母子関係といわれる神経質、情緒的な不安定、攻撃的傾向がなかったか、とか、父、母、子の人間関係に不十分な点はないかなどを検討し、①③について思い当たる養育態度があれば、両親が協力し合っ家庭内の人間関係の改善に努め、子どもには、チックがあったってどうということはないのだ、といった自信を持たせるようにしたいものです。